

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

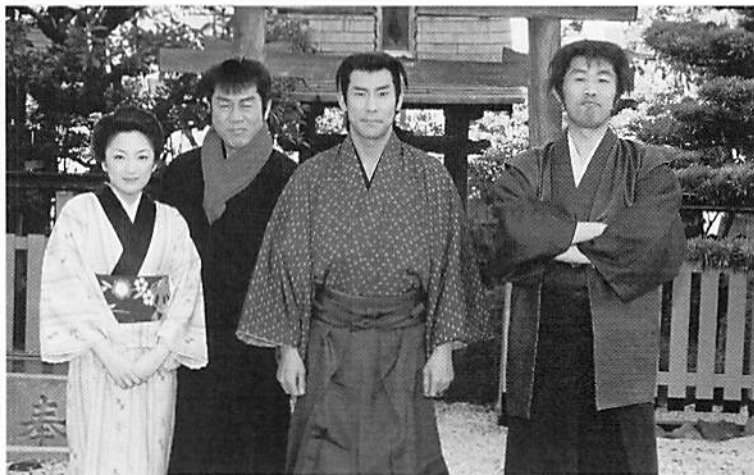
「三匹が斬る！」内藤剛志 レギュラー番組10年連続達成!

87年より放送され、最高視聴率21.8%を記録した、あの痛快娯楽時代劇の傑作「三匹が斬る！」が衰いも新たに新世紀に復活した。今回の三匹の顔触れは高嶋政伸、内藤剛志、小林稔侍。そして紅一点に山田まりやが加わっています。パワーアップ。

さて、今回出演の内藤剛志、通算10年連続でドラマ枠のレギュラーが途絶えた事がないという記録を保持。仕事に恵まれていて、さぞや痛みもなからうと思われるだろうが、頭が痛いのが役作り。連続して各種ドラマに出演という事は、必然的に別々のドラマの最終回と第1話が重なる事となる。重なるドラマの役柄が全く違う場合、役作りと頭の切り替えが大変だとか。

さて、この「三匹が斬る！」は、個性豊かでありわくありげな浪人三人組が諸国を巡る中で、あつと驚く事件に遭遇。その際に潜む悪人たちを退治するという、まさに時代劇の王道を行く決定版。30歳の代表として高嶋、40歳の代表として内藤、50歳の代表として小林をキャスト。3人の意見がドラマに深みを加える様に考えられている。高嶋演じる青柳啄馬は通称「若大将」。旅の目的は己を鍛えるための人生の武者修行。正義感の固まりで女性には免疫がなくて、少年の様に純粋。過去に目の前で兄を殺されるという辛い

体験を持つ。内藤演じる左文字右京は通称「極楽」。埋蔵金伝説や儲け話に東奔西走、儲けにならない事には手を出さない主義で他の二人と対立、敵の味方に付く事も。剣はもちろん多種多様な武器に通じている。小林演じる結城半兵衛は通称「先生」。かつてはさる藩の家老という過去を持つが、いい女を見ると途端に目尻が下がる。書画の才に長け、こ一番に見せる居合の腕は、剣豪を思わせる風格がある。山田の演じるお玉は神出鬼没、三匹に付きまとう謎の娘。勝気あふれるもの知らず。トラブルに巻き込まれた時には三匹を利用したり、叱責したり自由奔放に振る舞う。元はさる大店の箱入り娘、という各役回り。



衰いも新たに登場の三匹プラス一匹。右より内藤剛志、高嶋政伸、小林稔侍、山田まりや、「三匹が斬る！」は毎週月曜夜7時よりテレビ朝日系にて放映中。

石ノ森章太郎の人気コミックをドラマ化 「京都鴨川東署迷宮課・おみやさん」

先頃大ヒットした「化粧師(けわいし)」原作者、故・石ノ森章太郎の人気コミックが舞台に昇りドラマ化。「京都鴨川東署迷宮課・おみやさん」が5月9日より放映される。



主人公「迷宮課」の課長、島居勘三郎(渡瀬恒恵)は解決しては犯罪者の魂は救われるという信念の持ち主で、燃やすため、案内をついたあたるが「おみやさん」部下は櫻井洋演じる七尾洋子。「第一線」でハバハリ働きたいという願いと、異業種な部署に不満。その他出演は谷啓、七瀬なつみ、加勢大周、菅井きんら。渡瀬は「これまでやった事のない性格の役ですね、ほんやりして、頭が切れるという。ただ、原作も脚本もよく出来ていて、面白いながら見られる推理ドラマ。あんなよくった事のない明い役ですが、肩の力を抜いて、前半部分では明るく跳ね回り、後半は静かな演技しようと考えています。櫻井さんと初顔合わせで手探り状態ですが、こちらが直球を投げてもボールを返して、ちゃんと受けてくれる方ですね」とコメント。

京都インディーズ・ムービーでアイドル開花! 超下級ホームドラマ「もののはずみ」

京都を拠点に活躍するインディーズ・ムービー製作グループ「Fuzzy Function」がそのサマニエーションと連携、ドラマを製作。かつての月曜ドラマランドを彷彿とさせるマンガの様な設定ながら、価値観のズレた微妙な親子関係を軸にアイドルの濃厚な世界を表現している。物野家を舞台にした話に進み、可愛く振る舞う主人公はずみ(田川恵理)に父親は大激怒。はずみは外見は女性だが、実は男なのだ。だが、ひよんな事からはずみにアイドルのスカウトがかり、ついにはずみは父親の反対を押し切ってステージに立つ。おかげでストーリーには阻まれる。憧れの先輩からは妬まれると大騒ぎ。そしてその行く手を、かつてはずみが憧れたアイドル・知月弥生が強力なライバルとして阻むのだ。果たしてはずみの運命は……?



「もののはずみ」DVD ¥1,500(税別)は4月1日発売開始。申し込みは077-4433-9255まで。問い合わせは杉下企画。

ジョージ秋山の痛快時代コミック完全映像化! 「女形氣三郎(おんながたきさぶろう) さらば女の大冒険」

「浮れ雲」等で知られるコミック界の巨匠・ジョージ秋山原作の「女形氣三郎」が京都で完全映像化。監督は「必殺シリーズ」で賞賛の映像美と殺しの実学を表現し、日本アカデミー最優秀撮影賞を受賞した石原興カメラン。江戸時代、女の恨みを晴らして悪党たちを懲らした美しい女形人物、人呼んで女形氣三郎。將軍家御用絵師・邪染は女に阿片を吸わせては悶絶する狂態を眷属に描き、女を次から次へと誘い込んでいった。北町奉行所同心・鬼龍院(三浦浩一)は、かねてから気三郎ではないかと目をつけていた髪結い、キザの身辺を探り始める。気三郎を演じるのは大衆演劇「劇団」を主催する松井誠、NHK大河ドラマ「炎立」他、数々のテレビ時代劇にも出演、舞台では早変わりを得徳とし、「新・四谷怪談」では演劇史初のお岩と伊右衛門の一人、役の難



れ業を演じた。また、舞踏の美しさには評判があり、人形ケイシに入って登場する女形舞踏は狂態、他の出演者は三浦浩一、渡辺哲也。

今月の目録

この欄を執筆中の現在(3月末)、脚本・監督を務める映像の準備で目の回る様な忙しさ。8日で4作品を撮影するという殺人のスケジュールで、今からあれこれと心配がつのり、夜は眠れない胃は痛いとい七八個の毎日。しかしそれでも楽しいから不思議。やっぱりこの仕事はやめられない。この号が発売される頃には撮影も終了しているはず。さてどうなる事やら……

責任編集人 山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデューサー、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

2002年5月1日

山田誠二

「壬生義士伝」映画化
浅田次郎原作で本年のテレビ東京の正月10時間ドラマにもなった「壬生義士伝」が松竹で映画化。松竹京都映画撮影所が撮影される事となった。新監督は「隠れ囃子」の滝田洋二郎。出演は現在調整中で、初回はクラファンク・インの予定。

「たそがれ清兵衛」 撮影快調

松竹京都映画で撮影中の「たそがれ清兵衛」が快調に進行している。山田洋次監督が「隠れ囃子」の1日1シーンのみの撮影という入念さ。「寅さん」もこうして撮影されていたのかと山田初体験の京都勢も舌を巻いている。

「必殺必中仕事屋稼業」 ついにDVD化!

かつて「備後だけの天使」と書表で激突し、人気を二分した名作時代劇「必殺必中仕事屋稼業」がついにDVD化決定!タイトルからも推察される様に本作は必殺シリーズの第5作目。諸形孝と林隆三のコンビが活躍する、ギャンブルと殺しをミックスしたスリリングな作品。初回限定生産でBOXの2巻(17000円、税別)が6月5日にキングレコードより発売される。

ホラークイーン・ 三輪ひとみ最新作が 京都で撮影開始!

「リング」などの脚本家・高橋洋子によるカルトムービー「発狂する男」でもおなじみのホラークイーン女優・三輪ひとみ主演の最新作が京都で撮影される。詳細は次回にて。